

2017年(平成29年)2月2日(木曜日)

平成29年度 宮城県公立高等学校

# 前期選抜講評

仙台おおば学舎  
講師陣による  
前期選抜講評

## 今年度も、おおがくの 前期選抜講評が、 読売新聞に掲載されました。

平成29年2月2日 読売新聞 朝刊

### 出題方針と講評

県教育委員会と各教科の出題方針を聞き、学習塾「仙台おおば学舎」の講師陣に問題を講評してもらった。

#### ■ 国 語

事項の知識・理解を基に内容を把握する力などをみ

た。

【出題方針】第1問では登場人物の様子や心情などを豊かに読み取り、適切に表現する力をみた。第2問では書き手のものの見方や考え方を的確に捉えて、適切に表現する力を測った。

第3問では詩歌を鑑賞して、発言内容を捉え、適切に表現する力をみようとした。第4問では、基礎的な漢字を読み書きする力や、楷書と行書の特徴、敬語の知識・理解などを問うた。

第5問は、古典の基礎的な

第1問のみ若干の難化が見られたが、他は例年並みの難易度だった。

第1問の文学的文章は、人物の心情を象徴する言動の意味を記述で説明する問題が、受験生によっては難しかったと思われる。

第2問は手書きと機械による印字の違いをテーマにした説明的文章だった。手書きと印字の特徴を正確に

読み取ることで解答を導くことができた。

第3問は「詩と短歌」についての出題。詩は前期選抜で初出題とみられるが、話し合いの場面などが示され、解答しやすかった。

第4問は「漢字や文法関連の知識を問うたもので、主語の変化による能動から受動への述語の書き換え問題は新しい傾向だった。

第5問の「漢文」は、前期選抜の大問で取り上げられたのは初めてとみられる。返り点や抜き出し問題などの基本的なものが多いが、「能」の言葉の意味を知っているかがポイントだった。

【出題方針】第1問では数と式について基礎的な知

識と計算力などをみようとした。第2問では、起こり得る場合を順序よく整理し考察する力を測った。第3問では、牧場で車のタンクに牛乳を入れてからの時間と工場のタンクに運び入れた牛乳の量との関係を題材に、二つの数量の関係を式やグラフに表現する力などを問うた。第4問では、二等辺三角形の性質と三平方の定理を活用して線分の長さや面積を求める力などをみようとした。

【鈴木愛由夢講師】

今回も例年通り全4題身に付けてきた生徒に解きやすい問題構成だった。

#### ■ 数 学

宮城県の公立高校合格への道を切り開く、  
**仙台おおば学舎**  
**中学生は、ずーっと**  
**5科目 1万円台**  
※集団指導の受講料

【国語文責】 鈴木愛由夢

【数学文責】 池田慎太郎

【英語文責】 豊巻奈緒子

出来たかどうかガキと違った。

#### ■ 英 語

【出題方針】第1問では

絵を見て短い会話の内容を理解する力をみようとした。第2問は、短い会話を通じて、基本的な文法や語法に関する知識・理解などをみた。第3問では比較的長い英文から大切な部分を的確に捉え、全体の内容を読み取る力を測った。第4問では会話文から話の展開を理解する力をみようとした。第5問は基本的な英文を構成したり、自分の考えなどを簡単にまとめるための適切な英語で表現したりする力をみた。

基本的な英語力試す

時間配分も難しくなく、

第1問は、計算など基本問題が中心。非常に難易度が低く、中学校3年間の基礎学力を問う内容だった。

公立高入試問題と正解  
別刷り特集面に掲載

第5問は適語補充形式の条件英作文と、晴れた日に何をしたいかに答える自由英作文が出題され、ともに昨年に比べ容易だった。

【豊巻奈緒子講師】